



第1章 総論

計画の趣旨等 P1, 3

●策定の趣旨

国の「学校教育情報化推進計画」及び「千葉県学校教育情報化推進計画」を踏まえて、本市の学校教育の情報化に係る教育分野全般に関する施策の方向性を定め、本市の学校教育の情報化の更なる推進を図ることを目的として本計画を策定する。

●計画の位置づけ

学校教育の情報化の推進に関する法律第9条に定める市町村学校教育情報化推進計画に位置付けられ、「第2次柏市教育振興計画」等の目標を実現するための教育の情報化分野における実施計画とする。

目指す姿 P2, 3

児童生徒

新たな価値の創造に挑戦し、これからの柏をつくり、牽引する児童生徒
～ デジタル技術を活かし、自他の対話を通じて、個々の力を伸ばす ～

教員

これからの柏をつくる児童生徒の資質・能力を最大限にファシリテートできる教員
～ これからの時代の指導力向上を目指し、主体的に学び続ける ～

学校

これからの学校づくりを、学習指導・校務・研修の相似形の中で進める体制づくりを行う学校
～ 校務DXに取り組み、業務の効率化を加速させ、働き方改革を推進する中でよりよい教育を構築する ～

本市の学校教育の情報化の現状と課題 P4～21

	児童生徒の資質・能力	教職員の指導力	働き方改革を推進するための組織的な取組・体制づくり	ICTの環境整備
現状	<ul style="list-style-type: none"> ICTの日常的な活用 情報活用能力の育成を目指した、段階的な端末活用 	<ul style="list-style-type: none"> 市独自に研修を実施 ICT支援員による授業支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した校務の効率化に積極的に取り組んでいる学校が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 機器整備（端末・ネットワーク等）の状況は国及び県の平均を上回っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒主体による端末の日常的な活用 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 情報活用能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 端末活用について学校間・教員間の格差是正 研修への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> クラウドツールを活用した校務・研修（学習指導の相似形） データ利活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「2ndGIGA」に向けた機器整備





【概要版】柏市学校教育情報化推進計画（令和7年度から令和11年度） NO.2

学校教育の情報化に関する基本的な方針 P22～30

（1）ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成 P20～

ア ICTを活用した授業改善 P22

- ・ICTの日常的な活用を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
- ・情報活用能力育成にあたって、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進を図る。

イ 児童生徒1人1人の特性に応じたICT活用 P23

- ・特別に支援が必要な児童生徒に対するきめ細やかな支援や、全ての児童生徒の多様な学びを確保するために、ICTの特性を最大限に活かした学習を実施する。

ウ これからの時代に活躍するデジタル人材の育成 P23

- ・課題解決学習や探究的な学習などICTを効果的に活用したプログラミング教育やSTEAM教育を実施する。
- ・高等学校において、小・中学校から情報活用能力が体系的に育成されてきたことを踏まえ、初等中等教育段階における情報活用能力育成の最終的な姿であることを自覚して取り組む
- ・児童生徒がデジタルデバイスを始めとしたテクノロジーをよりよく使うための知識・技能を身に付ける。

エ 情報モラル教育の推進 P24

- ・児童生徒が自他の権利を尊重し、情報社会での行動に責任を持つことで、情報を正しく、安全に利用できる力を身に付ける。

オ ICTを安全安心に活用 P24

- ・児童生徒の健康面への影響についての配慮や安全・安心に活用するためのフィルタリングソフトの運用を行う。

カ 学校と家庭の学びをシームレスにつなげる P24

- ・家庭等でも日常的に端末を活用した学習機会を増やす取組を推進する。

（2）教職員のICT活用指導力の向上と人材の確保 P25～

ア 質の高い、より実践的な研修 P25

- ・ICT機器の操作等の習熟するだけでなく、それぞれの教材・教具の特性を理解し、指導の効果を高める方法、児童生徒のICT活用を進める方法について絶えず研修を行う。

イ 学校の情報化のサポート P25

- ・教員個々の力に頼るのではなく、学校、教育委員会等が一体となって取組を進めることや外部人材、大学教授、民間事業者等の助言や研修等が受けられる体制を構築する。

（3）ICT推進体制の整備と校務の改善 P27～

ア 柏市教育委員会による支援体制 P28

- ・「柏市GIGAスクール構想」を基に、市全体の教育の情報化を推進すべく、ICTに係る支援体制を構築する。

イ IT技術・教育データの利活用 P28

- ・ICT活用によって学習者主体の教育への転換や教員がより児童生徒と向き合える環境を築く。

ウ ICTを活用した校務の改善 P29

- ・ICTの活用により校務の効率化を図り、学校の働き方改革を推進する。

（4）ICTを活用するための環境の整備 P28

GIGA第2期（令和6年度～令和10年度）における環境整備 P30

- ・「柏市GIGAスクール構想」の実現に向けた端末の入れ替え及びネットワークの改善に取り組む。



【概要版】柏市学校教育情報化推進計画（令和7年度から令和11年度） NO.3

学校教育の情報化に関する目標 P31～33

(1) 児童生徒 P31

【KGI】
情報活用能力を発揮するため、ICTを効果的に活用している児童生徒の割合

KPI	R8	R11
「端末を使うことは学校の活動に役立つ」と回答の児童生徒の割合	80%	100%
「学習活動に必要なことを、端末を活用して、集めることができる」と回答する児童生徒の割合	80%	100%
「学習に必要なことを、端末を活用して整理することができる」と回答する児童生徒の割合	80%	100%
「学習に必要なことを、端末を活用してわかりやすくまとめることができる」と回答する児童生徒の割合	80%	100%
「端末を使った話し合いをして、自分の考えを相手に伝えることができる」と回答する児童生徒の割合	80%	100%
「端末を使ったり、使わなかったり、自分に合った学習の仕方を自分で決めて学習を進めることができる」と回答する児童生徒の割合	80%	100%
「端末を使うときに、(情報に対する責任について考え、)学校や家庭で決められたルールを理解し、正しく使っている。(よりよい使い方をしている)」と回答する児童生徒の割合	80%	100%

(2) 指導力向上 P32

【KGI】
子供の資質・能力を高めるために、ICTを活用して授業改善を実践し続けることができる教員の割合

KPI	R8	R11
教員がICT機器を活用した授業の割合を「週2～3回」または「毎日」と回答する教員の割合	80%	100%
ICT活用に係る研修を受講又は実施した教員の割合	80%	100%
「児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、ICTを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示できる」と回答する教員の割合	80%	100%
「グループで話し合っって考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、ICTを効果的に活用させられる」と回答する教員の割合	80%	100%
「児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導できる」と回答する教員の割合	80%	100%
「児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導できる」と回答する教員の割合	80%	100%

(3) 校務「教員の意欲を高める校務DX」 P33

【KGI】
ICT活用を軸に校務を整理・分析し、業務の効率化を図ることで、教員の働き方改革を推進している学校の割合

KPI	R8	R11
ICTを活用した校務・事務負担軽減のための取組として、教職員間の情報交換や会議のペーパーレス化など、校務へのクラウド活用の推進状況。	80%	100%
ICTを活用した校務・事務負担軽減のための取組として、学校と保護者間の連絡手段としてのクラウド活用の推進状況	80%	100%
ICTを活用した学習指導に係る業務（授業、授業準備、課題作成等）への取組状況	80%	100%
学校運営に関する校務DX化の推進状況	80%	100%
教育データ利活用の推進状況	80%	100%



【概要版】柏市学校教育情報化推進計画（令和7年度から令和11年度） NO.4

第2章 各論

基本的な方針を実現するための方向性 P35～

（1）ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成 P38～

ア ICTを活用した授業改善 P38～39

- 1人1台端末を活用した授業改善検討委員会による情報活用能力を育成するための授業実践事例の創出と周知
- 文部科学省及び千葉県が作成した「情報活用能力体系表」の周知及びそれを活用した各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進
- 各学校からのICT活用実践事例の提出及び周知
- 要請訪問等での指導主事による指導・助言

イ 児童生徒1人1人の特性に応じたICT活用 P40～41

- 特別支援教育におけるICT活用の充実
- 特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する指導の充実
- 児童生徒の実態に応じた学習機会の提供の推進

ウ これからの時代に活躍するデジタル人材の育成 P42～43

- 柏市情報リテラシー育成カリキュラムの推進
- プログラミング教育, STEAM教育の充実
- 高等学校の教科「情報」の指導の充実
- 生成AIの効果的な活用事例の創出と推進

エ 情報モラル教育の推進 P44

- 柏市情報モラル育成プログラムの実施
- 情報安全啓発講演の実施

オ ICTを安全安心に活用 P45

- 健康的な活用のための啓発リーフレットの提示と指導
- 深夜の時間帯における時間制限
- フィルタリングによる不適切なサイトへのアクセス防止

カ 学校と家庭の学びをシームレスにつなげる P46

- 授業設計を学校と家庭の学びを連続させた学びの設計に拡張
- 個別最適な家庭学習の推進

（2）教職員のICT活用指導力の向上と人材の確保 P47～

ア 質の高い、より実践的な研修 P47

- 1人1台端末を活用した授業改善検討委員会（ItoI委員会）
- アウトプットの場の設定
- 年次研修でのICT活用

イ 学校の情報化のサポート P48～49

- 専用Teamの設置
- 高い専門性を有する人材の確保

（3）ICT推進体制の整備と校務の改善 P50～

ア 柏市教育委員会による支援体制 P50～51

- 柏市教育委員会と学校間のサポート体制の構築
- 1人1台端末を活用した授業改善検討委員会（ItoI委員会）
- 学校間の好事例の共有や研修等の実施

イ IT技術・教育データの利活用 P52～53

- 教育データ利活用の推進
- MEXCBT活用事例の収集や活用の推進
- デジタル教科書及びデジタル教育コンテンツの活用事例の収集や活用の促進

ウ ICTを活用した校務の改善 P54～56

- ICTを活用した校務（学習指導含む）の効率化
- 統合型校務支援システムの導入
- 学校保護者間連絡システムの導入
- 教育委員会発出文書削減の取組
- 「柏市教育情報セキュリティポリシー」の定期的な周知・運用の確認

（4）ICTを活用するための環境の整備 P57

ア 端末について P57

イ ネットワークについて P57